

第10回全国盲学校フロアバレーボール美ら風沖縄大会 申し合わせ事項 競技 2026

令和8年4月28日現在

1 競技規則

運用する規則は、日本フロアバレーボール連盟発行『フロアバレーボール競技規則（2023年1月改定）』、および『大会申し合わせ事項』を適用する。

2 チーム編成

- (1) チームは、最大限12人の競技者(マネージャーを含む)、監督1名、コーチ3名以内とする。
- (2) マネージャーについて
 - ・マネージャー登録は1人までとする。
 - ・マネージャーは、競技者人数12人に含まれる。
 - ・マネージャーは、ユニホームを着用せず、マネージャーワッペンを付けなければならない。
 - ・マネージャーは、競技者とは異なるため、整列及び試合に出場することはできない。
- (3) 合同チームについて
 - ・合同チームで参加する場合は、地区予選から同一の合同チームで参加していることとする。
 - ・合同チームを編成する場合は、それぞれ6人未満の2チームで合わせて12人未満とする。
 - ・3チーム以上で合同チームを編成する場合は、6人未満のチーム同士であれば12人以上となっても認める。また当該地区内に6人未満のチームが1チームだけの場合と合同しても6人に満たない場合は、特例として6人以上のチームに加わることができる。ただし、いずれの場合も最終エントリー（ベンチ入り）は12人以内とする。
- (4) 最終登録は、大会1日目の代表者会議において実施し、プログラム掲載のチーム登録内容に基づき、構成メンバー表の確認時（欠席・変更など）とする。それ以降の変更は認めない。
- (5) リベロは構成メンバー表に記載し、試合を通しての登録でありセットごとの登録ではない。
- (6) ライン・アップ・シートはセットごとに提出する。

3 コートについて

- (1) コートは2面で実施する。Aコートをメインアリーナ、Bコートをサブアリーナとする。
- (2) 主審には審判台を設置する。⇒位置は審判講習会で確認する。審判台下部にマットを敷く。
- (3) フリーゾーンは3mとする。
- (4) コート内（床上1m）の照度は1000から1500ルクスとする。

4 試合方法

- (1) 2セット先取の3セットマッチとする。
- (2) 得点はラリー・ポイント制とし、第1・第2セットは15点先取、第3セットは11点先取とする。
- (3) 第1・第2セットでデュース（14対14）の場合は、2点差となるか、17点を先取したチームの勝ちとする。第3セットはデュースなしで11点を先取したチームの勝ちとする。
- (4) 第3セットは、トスによりサービス（レシーブ）、コートを決する。セット中のチェンジコートは行わない
- (5) セット間は3分間とする。
- (6) タイムアウトは30秒間、各セット2回までとし、テクニカルタイムアウトは採用しない。
- (7) 試合時間を80分間に設定する。
 - ① 試合開始時間は主審のサーブ時の吹笛とする。
 - ② ラリー中に80分を経過した場合は、そのラリーが終了するまで行う。
 - ③ 75分経過しての選手交代やタイムアウトは認めない。但し、ケガが発生した場合に、主審の判断で負傷交代を認める。その際は時間を止める。最大3分とする。
 - ④ 第1または第2セットの途中、または第2セット終了時の残り3分以内で時間切れの場合は、第1・第2セットの合計得点で勝敗を決定する。
 - ⑤ 第3セットの途中で80分経過した場合は、第3セットの得点で勝敗を決定する。
 - ⑥ ④又は⑤で同点の場合は、1点先取の延長戦を行う。その際、コート内の選手やサービス権・

ローテーション等は最終プレーのものを引き継ぐ。

- ⑦ 試合終了5分を切ったところでセットが終了する場合は、セット間の3分を迎えたところでメインタイマーを停止する。次のセットのサービス許可の吹笛でメインタイマーを再開する。
- ⑧ 試合間は最低15分以上確保する。
- ⑨ 次の場合においては、主審の判断により計時を止める場合がある。
 - ア. 負傷者が出て、選手交代や治療等に時間を要すると認められた場合。
 - イ. 判定等、審判団での審議が必要となる場合。
 - ウ. その他、主審が必要と認めた場合。

5 試合形式 トーナメント戦を行う。

6 試合成立人数

試合成立人数は5名とする。ただし、選手は、前衛、後衛、両方可能のポジション登録を行い、登録のポジションのみプレー可能とする。プレー可能な選手がベンチにいるのにもかかわらず、5人で競技を行うことは認めない。

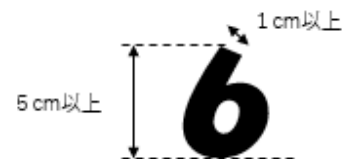
5名で試合を実施する場合、当該の選手にサーブが回ってきた場合は、サーブミスの主審が宣告し、相手チームに1点が与えられ、サーブ権も移動する。

7 交流戦

- (1) 敗者6チームにより交流戦を行う。
- (2) 大会3日目も、試合ができるようにする。
- (3) 3チームによるグループリーグ戦を行う。
- (4) 交流戦においても、試合方法はトーナメント戦と同様に行い、**プロトコールも実施する。**
- (5) 試合時間を**40分**に設定する。
 - ① 試合開始時間は主審のサーブ時の吹笛とする。
 - ② ラリー中に**40分**を経過した場合は、そのラリーが終了するまで行う。
 - ③ **35分**経過しての選手交代やタイムアウトは認めない。但し、ケガが発生した場合に、主審の判断で負傷交代を認める。その際は時間を止める。**最大3分**とする。
 - ④ 第1または第2セットの途中、または第2セット終了時の残り3分以内で時間切れの場合は、第1・第2セットの合計得点で勝敗を決定する。
 - ⑤ 第3セットの途中で**40分**経過した場合は、第3セットの得点で勝敗を決定する。
 - ⑥ ④又は⑤で同点の場合は、1点先取の延長戦を行う。その際、コート内の選手やサービス権・ローテーション等は最終プレーのものを引き継ぐ。
 - ⑦ 試合終了5分を切ったところでセットが終了する場合は、セット間の3分を迎えたところでメインタイマーを停止する。次のセットのサービス許可の吹笛でメインタイマーを再開する。
 - ⑧ 試合間は最低**10分**以上確保する。

8 競技服装

- (1) 競技規則第2章4-3および4-4に沿う服装とする。
パンツ及びソックスについてはこの限りではないこととする。
- (2) 競技者のナンバーは、競技規則第2章4-3-3に沿って、背、胸に加え、両上腕外側部にも付ける。※文字高5cm以上、文字幅1cm以上(上図参照)
肩ナンバーは貼り付けでもよい。
- (3) キャプテンマークは腕章に代えることができるが、審判が確認できる位置に取付けること。



9 組み合わせ抽選

- (1) 抽選会の抽選方法は、主管校が決定する。
- (2) 主管校チームをAコート第1試合に入れる。
- (3) 同一地区から2チーム出場する場合は、初戦で当たらないよう配慮する。

10 開閉会式について（予定）

- (1) 開会式は8月19日（水）9時30分から開催する。
9時20分までにメインアリーナへ集合すること。
- (2) 閉会式は8月20日（木）16時40分より行う。

11 その他

- (1) 諸般の事情により、大会途中で競技を中止する場合や日程等を変更する場合は、主催者側で協議・決定し、各チーム代表者に連絡する。また、大会HPに掲載し緊急事態に対応する。
- (2) プロトコール前にベンチを使用する場合は、トーナメント表のアルファベットの若いチームが、記録席からコートを見て左側を使用する。
- (3) 試合中は競技エリアでのボールの使用は不可。試合が終了している場合は可能とする。ただし、試合前練習を含め、コートの中に入っての練習は、不可とする。

第10回全国盲学校フロアバレーボール美ら風沖縄大会運営確認事項(案)

2026年4月28日現在

1 大会日程等

- (1) 本大会は予備日なしの3日間日程で実施する。
- (2) 悪天候等による日程変更の必要が生じた場合、当日の朝6:30までに、実行委員会が判断し、関係者に連絡するとともに、大会ホームページにも掲載する。

2 出場チームについて

- (1) 大会に出場するチームは参加費として30,000円を大会実行委員会に納めること。
- (2) 宿泊は大会実行委員会が斡旋する「パシフィックホテル沖縄」とする。宿泊費の支払いは、実行委員会が指定する旅行業者に期日までに終えること。期日および方法は別途連絡する。
<旅行業者> 有限会社ガリバー旅行企画
沖縄県島尻郡南風原町兼城603
[TEL:098-889-45454](tel:098-889-45454)
担当者:下地 宏樹
- (3) 会場地区までの移動は、各チームで手配すること。
※沖縄大会ではシャトルバスの運行を予定しています。
- (4) 大会実行委員会からチーム登録者の宿泊費、交通費補助は次の通りとする。
 - ・宿泊費 1人 上限 10,000円(1泊)
 - ・交通費 1人 上限 20,000円※交通費補助の対象は「公共交通機関」の利用に限られます。貸切バスなどを利用の場合、交通費補助の対象外となりますのでご注意ください。
※宿泊補助は、3泊分申請しています。
- (5) 昼食弁当は、希望があれば主管校にて弁当業者を斡旋する。(注文は任意)
- (6) 大会中の飲料水等は、各チームで用意すること。
- (7) 3位までのチーム全員(選手及びベンチ入りスタッフ)にメダルを贈る。
- (8) 出場チームには、全員に記念品「トートバック等」を贈る

3 抽選会・代表者会議について

- (1) 各地区予選後の7月8日(水)にオンライン抽選会を行う。
- (2) 第1日目の公式練習終了後に、代表者会議を行う。
※代表者会議の出席者は各チーム監督およびコーチ1名とする。

4 大会協賛金について

- (1) 全盲体連各校に協賛金を募る。
返礼品はTシャツ・ポロシャツ・タオル・手ぬぐい・イオン商品券等とする。
- (2) 地域の企業等に協賛を募り、大会運営資金の一部とする。

5 役員の宿泊費、交通費について

- (1) 全国盲体連負担 : 大会会長(全盲体会長)、全盲体事務局長
- (2) 大会実行委員会負担 : 副会長(全盲長会長/盲P連会長/財団理事長)、顧問(体連顧問/盲P連事務局長)、参与(次期主管校長)、審判長(JFVA派遣審判)、審判員、競技役員
- (3) 自校負担 : 副会長(前事務局校長/次期事務局校長/各地区連盟会長)、顧問(全盲長事務局長)、参与、全国大会専門委員、チーム引率職員